

今後一層のご活躍を
期待致します



☆渡辺 登志子 ☆山内 オサト ☆小畑 みえ
☆櫛引 キクエ ☆熱海 常代 ☆浅野 たみ子
☆小松 ヨシノ ☆星 昭光 ☆鈴木 孝
☆気仙 叶 ☆森 勝男 ☆菊池 文志
☆佐々 和男 ☆小原 雄二 ☆菅原 信悦

以上の方々が総会席上に於いて表彰されました。

●永年会員表彰受賞者名(敬称略・順不同)●

総会に先立ち会員15名(男8名・女7名)が表彰されました。

会 員 表 彰

平成29年度1次収支補正予算・事業報告 収支決算報告・監査報告・平成30年度事業計画・収支予算・定款の変更・役員を選任承認の件等について報告承認されました。

平成30年度定時総会が6月13日(水)ホテルグランドパレス塩釜於いて開催され次の事項が決議承認されました。

議 案 承 認

平成30年6月総会開催

会員拡大・就業先確保に全力で取り組もう

役 員 の 選 任 承 認

任期満了に伴い左記の役員を選任が承認されました。

- ✿理事・引地榮五(再)・桜井俊二(再)・和賀正志(再)
・山路幸榮(再)・阿部徳和(再)(健康福祉部長)
・飯塚則久・(新)・菊田芳弘(再)
✿監事・三浦一泰(再)(商工会議所専務理事)
・小松幸雄(新)

また左記の理事及び監事の方々が退任されました。

長い間当センターの為に貢献して頂き有難うございました。今後ともよろしくご協力の程をお願い致します。

- ✿理事 ・平山日出子 ・櫛引健治 ・佐藤 嘉智子
✿監事 ・阿部シヅ子



理事長より表彰を受ける



退任される理事と監事のご挨拶

「理事長を拝命し考える事」

月見小二班 引地 榮五

皆さんこんにちは。今年(平成三〇年)六月十三日に開催されました総会において、理事長に新任されました引地です。

それまで永年に渡り理事会運営にご尽力され、この度退任されました平山理事長他三名の理事監事の方々に對し、深く敬意を表するものであります。ご苦勞様でございました。

それにもとない新任再任されました方々と共に、今まで培って来た方針を受け継ぎながら改革すべきは改革をし、更に良い方向を目指す様最善を尽くす所存でありますので、今後とも宜しくお願い致します。

理事長就任時は責任の重さから不安を感じておりました。しかし就任後菊田局長と数回に渡り各地域の「シルバー人材センター」の会合に出席させて頂きました。各市町より理事長及び局長の方々が一同に会する会議です。私にとりまして又とない勉強の場となりました。この様な会合を重ね会話をする内に理事長とは、又「公益社団法人塩釜シルバー人材センター」という団体の意味を今一度考えて見たいと思う様になりました。

その結果私なりに思う事は「公益社団法人」と云うのは塩釜市民の方々からのニーズ(仕事の依頼又、要望)に對し誠実にそして確実なサービスで答えると云う事が大事であると思ひます。それにより「ロコミ」等を含め事業主及び市民の方々から

仕事の拡大につながると思ひます。

自主自立共働共助の理念のもと生涯現役の精神にも元づき会員の皆様により多くの就業が出来るものと確信致します。そして大事な事は市民の方々の要望に對し理事会又事務所職員の方々は勿論の事、実際に現場で仕事に携われる会員皆様と共に「シルバー人材センター」の拡大に繋がる様に頑張つて行きたいと考えております。

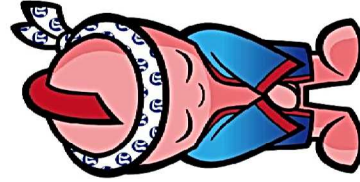
現在多くの「人材労働派遣会社」が仕事を獲得するべく必死になって凌ぎあつており、当センターにおいても数件の大きい仕事がキャンセルになりました。それを挽回するべく様々な手段を駆使し、仕事の獲得を目指し頑張っている処です。大きな仕事は一人では出来ません。理事会、事務所そして会員の皆様が一致協力する事で成し遂げる事が出来ます。

今後のご指導ご協力を切にお願い申し上げます。



新任の挨拶をする引地理事長

平成三〇年十二月一日



◇接遇適正安全健康管理等講習会開催

例年行われる接遇・適正・安全・健康管理等の講習会が2月6日(火)7日(水)13日(火)14日(水)19日(月)20日(火)26日(月)27日(火)の8日間、菊田局長が講師として、尾島町集会所にて行われました。

この講習会は接遇・適正・安全・健康管理等の就業に関するお話とセンターが受注している総てに関係する概要についての説明と、仕事を分け合い適正安全就業を徹底するための講習会です。

今回は2件の死亡事故が発生し、宮城県シルバー人材センター連合会会長より厳しい指導通知があり、より厳格に安全意識の向上をはかるために、この講習会に参加しなければ当センターの就業に従事出来ないという指導のもとに開催しました。このような認識の周知徹底のもと8日間の講習会で昨年より100名程多い会員251名が受講しました。

◇接遇・適正・安全・健康管理講習会資料より

接遇・マナーの目的

- 接遇やマナーの重要性を理解しそれをもとに行動できるようにする
- 礼儀や基本動作を学び好感をもたれる対応を身につける
- 挨拶・身だしなみ・言葉づかい・態度など

○クレーム処理・トラブル対応の仕方を学び実践できるようにする

- ①相手の「心情を理解」し不快にさせた事をお詫びする
- ②なにが問題になっているか「原因・事実・確認」を行う
- ③問題の「代替案・解決案」を冷静に提示する
- ④再度「お詫び」しご意見に対して感謝する

◇安全就業の認識など徹底化

○ヘルメット・安全带・保護メガネ着用などの徹底化

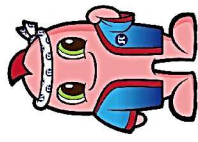
○石飛防止ネットやシート脚立など使用の際の固定ロープ等安全対策の徹底

○加齢による身体の機能低下の認識付の徹底

※日頃より栄養・休養・適度な運動等に心掛け

自己管理をよろしく願います

地域班会議で活発な意見



恒例の班会議が8月～9月中に例年通り開催されました。班の会員が一同に会し現状などについて情報の交換をする場となっております。

班長さんの議事進行によりセンターからのお知らせ(地域班編成の決定について・ボランティア活動参加協力への呼びかけなど)説明の後、参加者の自己紹介を行い、センターへの意見・要望など忌憚のない発言が多数だされました。会員減少対策・シルバーのPR不足・友の会とセンターとの関わりが明確でない・又仕事の紹介が少ないと云う苦情や要望など建設的な意見がありました。

この地域班会議でだされた意見や、その意見に対するセンターからの回答結果は後日別紙配布されます。

地域班編成一部改正承認

平成30年度第4回理事会において、各地域班長より班員数の多い少ないなどの格差があり、また地域が広範囲になるなど検討して欲しいとの意見により地域班編成の一部改正が提案され承認されました。またそれに伴い地域班長委嘱の件も合わせて承認されました。

◇地域班長委嘱承認された方々

・一小一班	長瀬 洋	・一小二班	佐藤 敏夫
・一小三班	伊藤新之助	・二小一班	未 定
・二小二班	高山 勝道	・二小三班	小野 武彦
・二小四班	佐藤 賢一	・二小五班	今野 勲
・二小六班	佐々木友昭	・二小七班	木村 源一
・三小一班	未 定	・三小二班	気仙 叶
・三小三班	千葉 榮幸	・三小四班	菊池 文志
・月見一班	未 定	・月見二班	佐藤 清
・月見三班	小野寺治生	・月見四班	未 定
・月見五班	高橋 一夫	・杉小一班	松本 正明
・杉小二班	石垣 興平	・杉小三班	小野 健蔵
・玉小一班	鈴木 盛雄	・玉小二班	小松 三夫
・玉小三班	森 勝男		

ボランティア清掃活動

二小一班 小松 幸雄

今年度のシルバーの日は10月20日(土)でした。全国のシルバー人材センターで一斉にボランティア活動が行われ、塩釜市シルバー人材センターでも恒例となりました道路清掃を実施いたしました。

去年は市役所を出発し一番館までの行程でしたが、今年は本塩釜駅前ロータリー(アクアゲート側)に集合出発起点とし、壹番館→西町阿部勘酒造店前の信号→本町→旭町→市役所前→尾島町→シルバー人材センター前→本塩釜駅前ロータリーの行程で行われた。

予定時刻の10時に46名の方々の参加のもと、当シルバーセンターの引地理事長の挨拶の後、「長寿社会課」鈴木課長より挨拶を頂き、菊田局長から本日の留意点などについて説明を受けた後、一部清掃する道路が異なる為2班に班分けをして実施された。当日私は9時30分に駅前ロータリーに着いたのですが、早朝土曜日にも関わらずすでに多数の方が集まっておられ、植木剪定班や草刈班・表具班・豊島グループその他の顔見知りの会員が和やかに談笑しておられた。

幸いに天候にも恵まれ、清掃ボランティア活動中でも、会員同志の近況報告やらゴミの種別の判断の相談や仕分け作業等互いに意志疎通をはかりながら、車両通行時の注意喚起の呼び掛け、道路横断時の手招きの注意掛け合いなどスムーズに行われた。途中、のぼりを立てたシルバー者が先導しながら、またゴミ収集車も随行しながらゴミを集め、全員トラブルも

なく約二時間の清掃活動が無事に出発点の本塩釜駅前ロータリーにゴールした。ただ、残念なことは、今回のボランティア活動の中で女性の参加者がたったの一名だけであつたということです。

このことは女性会員への周知が不徹底であつたか、あるいは関心の薄さにあるものと思われます。更に残念なことは、シルバーセンター役員の理事の方の参加が少ないということです。理事である市役所の「健康福祉部」の阿部部長が参加出来ない為、代理に鈴木課長が参加してくれているだけに残念であり、**猛省を促したいと思います。**

ボランティア活動の終了後に、シルバーサロン(事務所二階)で美味しい豚汁とオニギリが振舞われました。平山さん、山路理事をはじめサロンの皆様本当に有難うございました。



出発前の長寿社会課 鈴木課長の挨拶



本町通りをボランティア清掃中

綿菓子とポップコーンに遊ぶ高齢者



メインステージで塩釜神楽保存会の熱演



第12回塩釜社協「高齢者まつり」

9月17日(月)敬老の日の塩釜ガス体育館に於て、「高齢者まつり」が盛大に開催されました。

当日は秋晴れのもと、沢山の協賛とボランティアの協力により会場に溢れんばかりの高齢者が参加されました。メインステージでは塩釜神楽保存会の披露、塩釜高校吹奏楽部の演奏や塩釜市民謡連合会の発表、そして「原田直之」の民謡ライブと盛りだくさんの演芸で賑わっておりました。またうどん・そばの無料提供も盛況でした。

塩釜市シルバー人材センターは、綿菓子とポップコーンの無料提供をし、朝早くから来場者が行列を作るほどの盛況ぶりに、スタッフ一同忙しい中にも笑顔で対応しました。

お手伝い頂きました会員の皆様本当にご苦勞様でした。

手芸サークルの皆さん



シルマグちゃんとむすび丸



第15回「教習所一日開放まつり」

9月23日(日)東日本自動車学校において、教習所まつりが行われ当センターも昨年に続き参加しました。

会場内は、飲食やチャリティーの屋台、オートバイや車両の展示、サンマのプレゼントやお楽しみ抽選会など大勢の見物客で賑わっておりました。

ステージではお笑いライブやダンスショー、吹奏楽演奏、トライアルショーなど盛り沢山の催しものが披露されました。

塩釜シルバー人材センターは、シルマグちゃんがアスコットキヤクタ―むすび丸と一緒に会場内を廻り子供達に喜ばれました。また、当センターの広告チラシ配布と塩竈市指定のごみ袋の無料配布や手芸サークル(お針子さん)の皆さんがお手製の作品を販売しました。会員の皆さんご苦勞とまでした。

二市三町シルバー人材センター連絡協議会

役員研修会

10月26日(金)七ヶ浜町「麻屋旅館」に於いて二市三町役員研修会が行われました。

平成30年度は七ヶ浜シルバー人材センターが担当ということで、吉嶋憲男理事長の開会挨拶があり、その後社会福祉法人巧寿会グループホーム「七ヶ浜桜の家」管理者赤間とわ子氏による「認知症について学んでみませんか」というタイトルの講演がありました。

講演の目的は「認知症を正しく理解し、認知症の人や家族を温かく見守る、認知症サポーターを増やす」ということです。

わが国の認知症高齢者の数は、二〇二五年には約七百万人、六五歳以上の高齢者の約五人に一人に達すると予想されています。決して他人事ではありません。認知症の方への対応の心得の基本は①驚かせない ②急がせない ③自尊心を傷つけないことが肝心です。まずは見守り、相手に目線を合わせて優しい口調で、おだやかに相手の言葉に耳を傾けてゆつくり対応しましょう。アスミなど認知症予防の一環として仲間づくりが大切だと言われています。多いに仲間をつくりましょう！

続いて第2部の交流会が行われ二市三町の役員さん達との情報交換やカラオケなどで親睦を深めることができ、31年度は松島シルバー人材センターが担当で閉会となりました。

平成30年度訪問介護訪問型サービス

及び家事援助サービス担当者会議

杉小二班 佐藤 嘉智子

平成30年11月14日(水)塩釜市シルバー人材センター二階会議室に於いて家事援助サービス担当者会議が開かれた。担当者の平均年齢は七二・七歳、全員の方が二、三か所の訪問先を担当し意欲的に活動している。

利用者さんの平均年齢は八二・七歳、支援の制度も年々変わって行く中、利用者さんの中には自身の支援内容をしっかり把握していない方もあり、支援以外の用件を依頼されたり、就業時間がオーバーしたり、プライドの高い利用者さん、上から目線の方、何日分のおかず造り等々皆さん辛い思いもしながら日々奮闘している様であった。

利用者さんの小さな変化も見逃さず大事に至るのを防いだ例や様々な体験を聞くのは身の引きしまる思いである。年々高齢化が進み、介護者不足から海外のヘルパーの方々に介護を依頼することが通常化している今日、私達シルバーの支援担当者も必要とされている以上、お互い切磋琢磨して活動して行かなければならないだろう。

私自身、八〇歳を過ぎ体に限界が来ていると常に感じているが、利用者さんからの「来週お願いします」の声に励まされ頑張っている現状である。尚、現在の利用者様の数は二六名と少しずつ増加している事も報告しておきます。

安全委員会報告

杉小二班 和賀 正志 委員長

昨年度の2件の重篤事故の反省を踏まえて、「事故を起こさない、起こさせない」為に2月に実施された接遇・安全の講習会を、シルバー人材センターで就業する為の絶対条件に義務付け、緊張感を持って受講したにも関わらず、今年度も事故が発生しております。

安全委員会で「安全対策マニュアル」を策定して、また「安全就業対策。パトロール点検表」をもとに年12回のパトロールを実施しているのに、事故を防ぐことが出来ません。業種により一人作業もあればチーム作業もあります。また働く人の精神的・肉体的な条件や気候条件にも影響され、互いに注意喚起するだけでは事故は防ぎ切れません。労働災害防止の法則に、一つの重大事故の背後には二十九の軽微な事故があり、その背景には二〇〇の異常が存在すると言われています。

この二〇〇の異常を無くすという事が、K Y活動の実施と「安全対策マニュアル」に添った作業環境を段取りしてから作業をする事だと思います。

今年度も3回の安全委員会と、事故発生に伴う臨時の安全委員会、また安全パトロールも9回実施しております。

「安全はすべてに優先する」このスローガンを忘れずに安全対策を実行して行きますので皆さんのご協力を切に願います。

事務局より

会員全体研修と新春のつどい

平成三十一年二月二十一日木曜日午後1時より、

グランド・プレス塩釜で開催いたします。

研修内容は、平成三十一年十月一日から、消費税の引き上げと併せて、軽減税率制度が実施に伴い、塩釜税務署様よりご講演を予定しております。その後、新春の集いを開催いたしますので多数の方々の参加をお待ちしております。

編集後記：今回からシルバーセンター会員と友の会の緊密性を深めるため、「シルバーだより」と「友の会だより」を合体させて発行する事にしました。尚編集局として、シルバー会員から新聞発行の作成委員を募集しております。ご希望の方は事務局までご連絡下さい。